

第2期 子ども・子育て支援事業計画 R2年度個別事業計画 【R2年度実績見込み】

資料2

<目標> 子どもと親と地域の笑顔があふれ、安心して子育てのできるまち いなし

<基本方針1> 子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し 番号	具体的な施策	所管課	R2年度 事業計画(具体的内容)	R2年度 事業実績(具体的数値、内容)
(1)経済的 支援	保護者負 担の軽減	1	児童手当	子育て支援 課	中学校修了前の児童を養育している人に支給 支給額 3歳未満 月15,000円 3歳以上小学校修了前(第1子・2子)月10,000円 (第3子)月15,000円 中学生 月10,000円	支給実績 延93,021人 1,024,475千円(R3年2月末現在)
		2	子どもの医療費 助成	健康推進課	・就学前児童及び小中学生の入通院医療費の助成を行 う。 ・高校生の入院治療費を助成する。	・就学前児童及び小中学生の入通院医療費の助成 54,311件 100,435千円(R3年1月末時点) ・高校生の入院治療費の助成 264件 1,441千円(R3年1月末時点)
		3	出産祝金	子育て支援 課 地域創造課	【過疎地域・田舎暮らしモデル地域】 「子どもの出産時に指定地域に住所を有し、定住する意 思が認められること」及び「自治会に加入し、地域活動に 参加する意思が認められること」を満たした出産児の養 育者に、出産祝金として第1子3万円、第2子5万円、第 3子7万円および第4子以降1人につき10万円を支給。 【上記以外の地域(伊那地域)】 人口増対策として、第3子2万円、第4子以降1人につき 5万円を支給する。	・過疎地域 22件 ・田舎暮らしモデル地域 2件 ・伊那地域 63件 (R3年2月末現在)
		4	子育てすまいる	管理課	引き続き前年度と同様の子育てすまいる事業(高遠・長 谷地区にある市営住宅の所得要件等の緩和、家賃の2 割軽減)を実施する。また、事業の継続について検討す る。	市営住宅(中堅所得者層向け住宅)入居子育て世帯は 76世帯(R2年度末)。このうち新入居世帯は5世帯。所得 要件緩和による入居世帯は1世帯。3年間の事業延長を 実施した。

## <基本方針1> 子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し番号	具体的な施策	所管課	R2年度 事業計画(具体的内容)	R2年度 事業実績(具体的数値、内容)
(2)出産環境の整備	妊婦健康診査	5	妊婦一般健康診査	健康推進課	一般健康診査(14回分)を公費負担する。	妊婦一般健康診断受診券を発行した。 6,411件(R2年12月末現在)年度末まで8,600件(見込)
	妊産婦支援の充実強化	6	母子健康手帳発行	健康推進課	妊娠届出者に母子手帳を発行する。	妊娠届出時に母子手帳を発行した。 322件(R3年1月末現在)
		7	妊婦、出生届出時相談、指導	健康推進課	妊娠届出時に保健師による個別相談と指導を実施する。届出全数に対応する。	妊娠届出時に保健師より、伊那市独自で作成した育児のしおりを用いて、個別相談・保健指導を全数行った。
		8	ハイリスク妊産婦への訪問指導、相談(養育支援訪問事業)	健康推進課	妊娠届出時の個別相談において把握したハイリスク妊産婦に対し、養育支援ネットワーク会議を月1回開催して支援計画を作成し、保健師の訪問等により継続支援をする。	妊娠届出時の個別相談において把握したハイリスク妊産婦に対し、養育支援ネットワーク会議を月1回開催して支援計画を作成し、保健師の訪問等により継続支援した。 新規支援者69件、継続支援者144件(R3年1月現在)
		9	産後ケア事業	健康推進課	産褥期の機能回復に不安のある者や初産婦等で育児不安のある者を対象に、7日間限度で上伊那管内クリニックや助産院等での宿泊り、日帰り又は訪問型支援の利用に対して補助を行う。	産後ケア事業宿泊型 実人数8人、延17日 産後ケア事業訪問型 実人数1人、延8日 (R3年1月末現在利用状況)
	子育て講座等の開催	10	ハッピーバース講座の充実	健康推進課	・1コース3回の講座を年間10回開催する。 ・4箇所の産婦人科医療機関にポスター、パンフレットを継続して置き、事業の啓発拡大を行う。	4月～5月に予定していた講座は、コロナ感染症のため中止し、6月以降は感染症対策を講じ実施した。 参加妊婦数 延約200人(R3年3月末までの見込)
		11	出産応援セミナーの開催	健康推進課	出産前2か月くらいの妊婦を対象として、出産を安心して迎え、産後に使えるサービスや支援について伝えるための出産応援セミナーを月1回開催する。	出産を安心して迎え、産後に使えるサービスや支援について伝えるための出産応援セミナーを月1回開催した。 (4月～5月はコロナ感染症のため中止) 参加妊婦 実人数約250人(R3年3月末までの見込)
	その他	12	不妊治療費助成事業	健康推進課	・不妊治療者の経済的負担の軽減のため、治療の一部助成をする。 ・市ホームページへの掲載、県窓口にパンフレットを置き、事業の啓発拡大を行う。	・助成内容を充実変更し、周知した。 変更点 ①1回の補助上限額を10万⇒20万 ②夫婦の合計所得制限730万⇒撤廃 申請件数33件 助成金額2,718千円(R3年2月25日現在)

<基本方針1> 子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し 番号	具体的な施策	所管課	R2年度 事業計画(具体的内容)	R2年度 事業実績(具体的数値、内容)
		13	産科等開業支援事業	健康推進課	不妊に悩む市民が身近で安心して治療を受けられる環境を整備するため、市内に不妊治療専門医療機関を開業しようとする者に1,500万円を上限に補助金を交付する。	「このはなクリニック(婦人科)」がR2年12月15日に開院。産科等開業支援事業補助金1,500万円を交付。
		14	助産施設への入所	子育て支援課	経済的理由により入院助産を受けることが出来ない妊産婦に対し中央病院に入院助産委託する。	実施 1件
		15	ウッドスタート事業 ブックスタート事業	耕地林務課 生涯学習課	【ウッドスタート事業】伊那市における木工産業の振興と木育の推進を目的に、6か月相談時に木のおもちゃを贈呈する。 【ブックスタート事業】親が読み聞かせを行い親子の絆を深めるため、6か月相談時に絵本を1冊贈呈する。	【ウッドスタート事業】352品贈呈 (R3年2月末現在) 【ブックスタート事業】382冊贈呈 (R3年2月末現在)
(3)子どもと親への健康支援	乳児家庭全戸訪問事業	16	乳児(新生児)訪問指導・養育支援訪問事業	健康推進課 子育て支援課 学校教育課	・乳児の健全な発育発達の援助と母親の不安や悩みについて訪問支援を行う。出生全数に対応する。 ・妊娠中から出生後の母子への養育訪問支援を行う。 ・母子家庭の母に対して保健師及び家庭児童相談員と連携支援を行う。 ・子ども相談室と連携し、保健師等が養育支援を行う。	・乳児の健全な発育発達の援助と母親の不安や悩みについて出生全数に対して家庭訪問により支援を行った。(420件見込) ・養育支援ネットワーク会議後に、必要な家庭に対して助産師など専門職の訪問支援を行った。(延6件) ・子ども相談室と健康推進課が連携し、保健師等が養育支援を行った。
	乳幼児健康診査及び相談事業	17	乳幼児健康診査	健康推進課	・医療機関で実施する乳児一般健康診査の受診券交付(1人1枚) 〈実施する乳幼児健診及び相談〉 ・3か月乳児健診 1歳6か月児健診 ・6か月乳児相談 2歳児健診 ・10か月乳児健診 3歳児健診 各月2~3回実施 ・3歳児健診時に園長及び保育士が参加し遊びの提供をしながら子どもの様子を見て保育園へ繋げていく。	・医療機関で実施する乳児一般健康診査の受診券交付(1人1枚) 実績265件(R2年12月末現在) 〈実施する乳幼児健診及び相談〉 コロナ感染症のため、4月から5月の健診は中止し、6月以降に振替日を設けたり、内容を変更し実施した。 各健診とも 月2~3回実施
		18	育児・母乳相談	健康推進課	育児母乳等相談券の名称を「育児相談券」に変更し、使用目的を明確にし、医療機関や助産所助産師による育児相談を受ける場合の補助を行う。(1歳6か月までの間で、2,000円の助成券を1人3枚交付)	コロナ感染症の影響により、外出自粛の影響もあり、例年より利用件数は減っている。 300件利用(R2年度見込)

<基本方針1> 子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し番号	具体的な施策	所管課	R2年度 事業計画(具体的内容)	R2年度 事業実績(具体的数値、内容)
		19	ママヘルプサービス	健康推進課	出産後に家族内に家事、育児等の補助者のいない家庭に、出産の翌日から12週以内でヘルパー派遣の補助を行う。	申請者14人(R3年1月現在)
		20	あそびの教室	健康推進課	・子ども相談室で、様々な不安や悩みを抱える子どもが自立へ向けて生きていく力を培うための相談・支援を行う。 ・専門的な支援が必要と思われる子どもに対して集団遊びを行い発達を促すとともに、親に対して適切な育児支援を行う。 じゃんぷ・すてっぷ(2教室)月2回 すてっぷミニ どんぐり月2回 小グループ(たんぽぽ)	コロナウイルス感染症のため、4月～5月の教室は中止。 6月からは、計画に沿って各教室を実施した。 じゃんぷ・すてっぷ(2教室)月2回 すてっぷミニ(10月～)月2回 どんぐり月2回 小グループ(たんぽぽ)月2回
		21	虐待予防自助グループ	健康推進課	子育てに悩んだり自信が持てない母親に対し、子育てワークショップ1回、自助グループ6回(親育ちプログラム)を開催する。	コロナウイルス感染症のためワークショップは中止し、自助グループのみ実施 参加者8人
	その他	22	予防接種	健康推進課	法定予防接種の実施(すべて個別接種) ・ヒブ ・小児用肺炎球菌 ・四種混合(百日せき、破傷風、ジフテリア、ポリオ) ・BCG ・麻しん風しん ・日本脳炎 ・子宮頸がん(積極的勧奨は差し控え) ・水痘 ・B型肝炎 ・ロタウイルス感染症(R2.10.1開始予定)	法定予防接種の実施(すべて個別接種) ・ヒブ ・小児用肺炎球菌 ・四種混合(百日せき、破傷風、ジフテリア、ポリオ) ・BCG ・麻しん風しん ・日本脳炎 ・子宮頸がん(積極的勧奨は差し控え) ・水痘 ・B型肝炎 ・ロタウイルス感染症(R2年10月1日開始)
		23	小児慢性特定疾患患者への見舞金支給	健康推進課	伊那市難病患者等見舞金(小児慢性特定疾患分 年額10,000円 所得制限あり)を支給する。	・伊那市難病患者等見舞金(小児慢性特定疾患分 年額10,000円 所得制限あり)を支給 6人
		24	休日救急当番運営事業	健康推進課	休日緊急当番医事業(上伊那医師会)及び休日緊急歯科診療事業(上伊那口腔保健センター・上伊那歯科医師会)の費用を負担し事業を継続実施する。	・在宅当番医制事業負担:2,027千円 ・休日緊急歯科診療事業助成金:2,382千円

## <基本方針1> 子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し番号	具体的な施策	所管課	R2年度 事業計画(具体的内容)	R2年度 事業実績(具体的数値、内容)
(4)相談体制の充実	各事業での相談体制の充実	25	育児相談	健康推進課 子育て支援課 学校教育課 文化交流課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育ちの相談(予約制) 毎月1回</li> <li>・各支所、長谷健康増進センター育児相談 毎週1回</li> <li>・高遠町保健センター 毎月2回</li> <li>・本庁、伊那市保健センター育児相談 随時実施</li> <li>・子育て、教育に関する相談 随時実施</li> <li>・助産師による出産・育児相談(生涯学習センターちびっこ広場)毎月1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育ちの相談を月に1回実施し、言葉や発達支援を行った。</li> <li>・各支所での健康相談は予定通り実施し、各種相談支援を行った。</li> <li>・子育て、教育に関する相談を随時実施した。</li> <li>・伊那市生涯学習センター7階ちびっこ広場における助産師相談(例月開催)について、9月まではコロナウイルス感染症予防のため中止。10月から6回実施。</li> </ul>
		26	こころの相談	健康推進課	こころの健康のバランスを崩す心配がある子どもや両親に対し、臨床心理士による相談支援を行う。 毎月2～3日 伊那市保健センター(予約制)	こころの健康のバランスを崩す心配がある子どもや両親に対し、臨床心理士による相談支援を行った。 毎月2～3日 伊那市保健センター(予約制)
		27	子育て講座・親育て講座	健康推進課 子育て支援課 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援センターで、保健師が子育て講話を行う。</li> <li>・市内9公民館において開催している子育て学級について、より多くの子育て世代が、気軽に参加できるよう、関係部署や各機関と連携し広報等に努める。</li> <li>・公民館において、託児ボランティアなどの協力を得ながら、母親、父親向けの講義などの開催も計画する(目標:全館合わせて3回)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援センターの健康相談は、コロナウイルス感染症のため4月から6月は中止、以後は子育て支援課と情報共有しながら健康相談に出向いた。</li> <li>・公民館子育て学級について開催した。新型コロナウイルスの感染症防止のため広報等については控えた。(9公民館)</li> <li>・公民館での母親父親向け講義は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。</li> </ul>
	総合相談体制の充実	28	総合相談体制	福祉相談課	障害者、高齢者の総合相談窓口として、複合的な課題を持った家庭への支援を関係機関と連携をとりながら、専門職がチームとなって支援を行う。(多機関の協働による包括的支援体制構築事業含む)	多機関の協働による包括的支援体制構築事業として、日常的な関係機関による連携及び担当者による協力員会議(3回)、保健福祉部の課長、関係係長によるチーム会議(2回)を開催した。
(5)子育て支援体制の構築	地域子育て支援拠点事業	29	子育て支援センター事業	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竜南・上の原・富県・西箕輪・高遠の5センターの運営</li> <li>・育児用品などのリサイクル交換会を行う(富県)。</li> <li>・地域交流を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5センター(竜南・上の原・富県・西箕輪・高遠)延利用者数18,400人(R3年1月末現在)</li> <li>・リサイクル会 富県1回実施</li> <li>・コロナ対策のため、地域交流中止</li> </ul>
		30	子育てサークルや団体への支援	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファミリー・サポート・センター協力会員による活動の託児</li> <li>・双子育児サークル「さくらんぼの会」等で育児講話を行う。</li> </ul>	さくらんぼの会 3回開催(1回はコロナ感染防止のため中止)

## <基本方針1> 子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し番号	具体的な施策	所管課	R2年度 事業計画(具体的内容)	R2年度 事業実績(具体的数値、内容)
		31	子育て学級	子育て支援課 生涯学習課	引き続き、保健師や元保育士など、育児に対する知識や経験のある方に協力を依頼し、講演会、学習会など開催し、各公民館で子育て講座の充実を図る。	新型コロナウイルス感染拡大の中で、できるかぎり多くの講座を開催した。各公民館において講座、学習会、野外活動など6~8回開催
		32	子育てサークル等の拡充	子育て支援課 健康推進課	・子育てガイドブックで子育てサークルを紹介する。 ・乳幼児健診や乳児訪問時に必要な親子に子育てサークルを紹介する。	・子育てサークル数 16団体 ・今年度は活動を休止するサークルがあった(3団体)。
	ファミリーサポートセンター事業、一時預かり事業	33	ファミリー・サポート・センター事業	子育て支援課	会員相互の地域での助け合いの託児等の支援 ・10、11月に協力会員養成講座を定住自立圏で共同開催し会員増を図る。 ・スキルアップ研修会開催	・伊那地域定住自立圏で合同協力会員養成講座を開催した。 ・新規協力会員 17名 ・スキルアップ研修会3市町村参加 18名参加 ・活動件数 492件(R3年2月末現在)
		34	一時預かり事業	子育て支援課	・通院、求職、リフレッシュ等の一時的な保育を必要とする保護者を支援するため市内の公立私立の7園で実施	公立私立の7園で実施した。 公立3園延利用者数419人(R3年3月10日現在)
	子育て短期支援事業	35	子育て支援短期利用事業	子育て支援課	・一時的(1回利用が7日間まで)に保護者が養育を行うことが困難である時、児童養護施設「たかずやの里」に宿泊委託する。 ・利用希望に対応するために、ファミリーホームとの契約について検討、開始する。 ・たかずや福祉会の運営に対する支援を行う。	・延4名 29日利用 ・たかずやの里のほか2カ所のファミリーホームとの委託契約を開始した。 ・たかずや福祉会に対する補助を行った。
	高校生乳幼児健診体験学習	36	乳幼児健診体験学習(中高生)	健康推進課	高校生について、乳幼児とのふれあい体験により、いのちの大切さや母性父性の育成を行う。(希望する高校生等)	コロナウイルス感染症のため中止
(6)育児支援と情報提供	ワークライフバランスの啓発	37	事業者への啓発活動	商工振興課	・出産、育児に対する企業の理解を深めるため、企業訪問の際に関連パンフレットを配布し啓発に努める。 ・商工関係団体へワークライフバランス推進セミナー等の開催情報について周知する。	・人権週間に併せ、ワークライフバランスを含む企業人権パンフレットを事業者へ配布した。(239団体) ・伊那市企業人権教育推進協議会との連携による講演会を開催し、仕事と家庭の両立に向けた意識の醸成を図った。 企業人権連絡会講演会(受講者39人 オンライン参加10人)

## <基本方針1> 子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し 番号	具体的な施策	所管課	R2年度 事業計画(具体的内容)	R2年度 事業実績(具体的数値、内容)
		38	ながの子育て家庭優待パスポート事業	子育て支援課	・事業者募集と転入者などの新規加入者にカードを発送する。 ・パスポート事業周知や紛失時に再発行できることなどの広報を行う。	・参加事業者 146店 ・多子世帯応援プレミアムパスポート参加 41店
	子育て支援ガイドブック等の情報発信	39	子育てガイドブック	子育て支援課	子育て情報をまとめたガイドブックを、年1回更新発行し、妊娠届出時、転入時に配布する。	R2年度版に改定し1,800部を作成し配布した。
		40	ホームページやメール発信での情報提供	子育て支援課	安心安全メールの0～2歳情報で、未就園児向きの情報発信を行う。毎金曜日	毎週金曜日に配信し、49回送信した。(R3年2月末現在)
(7)ひとり親家庭への支援	ひとり親家庭への支援	41	遺児等福祉金	子育て支援課	父又は母が死別、重度障害となった18歳未満の児童を養育する保護者に児童1人年額14,000円を支払う。(8月)	62件(99人) 1,386,000円
		42	母子父子自立支援員の設置	子育て支援課	子ども相談室や関係機関と連携し、ひとり親家庭の相談や就労支援等自立に向けた支援を行う。	・相談件数 240件(R3年2月末現在)
		43	児童扶養手当	子育て支援課	・ひとり親家庭に対する生活の安定と自立支援のため満18歳の年度末までの児童を養育する保護者に手当を支給 支給額(所得制限あり)児童1人 全部支給月額43,160円 一部支給10,180円～43,150円第2子以降加算あり	支給人数 延4,590人 182,680,220円(R3年2月末現在)
		44	ひとり親家庭の親と子の集い	子育て支援課	・ひとり親家庭対象のバスハイク実施 行先:東山動植物園 ・ひとり親家庭の交流事業を行う。年4回	・バスハイク コロナ感染症防止のため中止 ・交流事業 4回開催
		45	母子生活支援施設の広域入所	子育て支援課	DV等で支援が必要な母子家庭を母子生活支援施設へ入所させる。	実施 1件
		46	母子家庭等日常生活支援事業	子育て支援課	ひとり親家庭の母親の就労等による託児支援に、ファミリー・サポート・センター会員を支援員として派遣する。	4日(32時間)実施

## <基本方針1> 子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し 番号	具体的な施策	所管課	R2年度 事業計画(具体的内容)	R2年度 事業実績(具体的数値、内容)
(8)発達相談と療育の充実	児童発達支援事業	47	児童発達支援事業	子育て支援課 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子が通園し、生活や遊びを通して心身の発達に支援を必要とする子どもの発達育成を図る。</li> <li>児童発達支援事業所として1日30人の児童と重度心身障害児5人を受け入れる。</li> <li>児童発達支援事業所小鳩園の児童発達支援センター化に向けて検討を進める。</li> <li>子ども相談室で、様々な不安や悩みを抱える子どもが自立へ向けて生きていく力を培うための相談・支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達検査、発達等相談支援延人数 369人（内相談支援関係は160人）（R3年2月末現在）</li> <li>児童発達支援事業所小鳩園の児童発達支援センター化に向けて、人員配置やソフト面の検討を行い、準備を進めた。</li> <li>虐待防止という観点から障害のある子どもの家庭支援は必須である。子ども・家族が自立へ向けていくために関係機関と連携し、相談支援を行った。</li> </ul>
	発達相談・発達支援事業	48	児童発達支援センター	子育て支援課	小鳩園を、支援が必要な0～18歳までの子どもや家族の相談の応じたり、地域の中核的な療育支援施設となる「児童発達支援センター」としての準備をし、R3年4月開始する。	R3年4月開始に向けて、エレベーター更新・指導訓練室他の改修を行った。（改修工事他予算額37,280千円）
		49	障害福祉サービス	社会福祉課 子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>上伊那圏域地域自立支援協議会療育部会を年4回開催予定。</li> <li>①療育に関わる研修会を企画し、併せて圏域の課題について他の部会等と連携しながら検討する。</li> <li>②地域分析に関わるWG(市町村保健・福祉・教育担当課、市町村代表特別教育コーディネーター、医療機関等)を設置し、各市町村の母子保健から学齢期における支援体制について地域分析の手法を用いて統一フォーマットにて分析を行う。（年4回程度）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上伊那圏域地域自立支援協議会療育部会を年2回開催。</li> <li>①療育に関わる研修会は、新型コロナの影響で中止。</li> <li>②地域分析に関わるWG(市町村保健・福祉・教育担当課、市町村代表特別教育コーディネーター、医療機関等)による分析を、昨年度に引き続き行った。、飯島町、宮田村による取り組み事例発表を行った。医療連携、中学卒業後のつなぎについて市町村に対してアンケートを取り課題を見える化し検討につなげた。</li> </ul>
	医療的ケア児保育支援事業	50	医療的ケア児支援	子育て支援課	児童発達支援センター(R3年度4月開始)を中心に、支援を行う体制づくりを検討し進める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童発達支援センター開始に向け、検討を進めた。</li> <li>看護師の充実を図った。</li> </ul>
(9)児童虐待予防と早期発見・早期対応	児童虐待	51	子どもの総合相談窓口の充実	健康推進課 子育て支援課 学校教育課 社会福祉課	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども相談室で、0歳から18歳までの支援を途切れなく行っている。</li> <li>要保護児童対策協議会等において、関係機関と連携を図る。各支所、伊那市保健センター、高遠町保健センター、長谷健康増進センターで定期健康相談窓口を開設する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども相談室で妊娠期～18歳までの様々な不安や悩みを抱える子ども・家族の相談を受けた。</li> <li>子ども相談室のパンフレットを製し、相談窓口を周知した。</li> <li>要保護児童対策協議会において、各関係機関と連携を図った。</li> </ul>



## <基本方針1> 子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し 番号	具体的な施策	所管課	R2年度 事業計画(具体的内容)	R2年度 事業実績(具体的数値、内容)
		52	要保護児童地域 対策協議会の充 実	子育て支援 課 学校教育課	要保護児童対策地域協議会により、関係機関の代表者 や担当者との連携を図り、児童虐待の早期発見と対応 や継続支援を行い、重篤事例の発生防止に努める。ま た、要保護児童の情報共有や支援内容の協議と見直し を定期的に行い、子どもの安心できる生活環境の構築 を図る。	・各関係機関との連携を図り、児童虐待の早期発見と対 応を行った。 関係者支援会議 218回 ・関係機関との支援会議を実施し、支援方法の見直しを 行い、子どもの安全で安心な生活環境の構築を検討し た。 新規相談件数 193件
(10)子ども の貧困対 策の推進	教育の支 援	53	相談・指導体制 の充実	学校教育課	スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー及び 子どもと親の相談員を配置し、児童生徒の家庭環境等 を踏まえた相談・指導体制の充実を図る。 長期休業中の中学生の居場所づくり、生活リズムの構 築のため、学習支援ボランティアを活用した中学生の自 習室を設置し学習の支援を行う。また、小学生は同じく ボランティアの協力により放課後の学習支援を行う。	・スクールソーシャルワーカー(1人)、スクールカウンセ ラー(4人)及び子どもと親の相談員(12人)を配置し、児 童生徒の家庭環境等を踏まえた相談・指導体制の充実 を図った。 ・中学生の自習室を、コロナ禍であったが感染対策を徹 底し、夏休みと春休みに実施した。常に反省を生かし、 春休み期間には実施場所を1カ所増やし、5カ所で実施 した。(春休みは予定)また、小学校・中学校共に、ボラ ンティアの協力を得て、放課後や授業間において学習支 援を行った。
	生活の支 援	54	学習・生活の支 援	福祉相談課 子育て支援 課 学校教育課	・生活困窮者世帯の子どもに対する学習・生活支援事業 を実施し、居場所づくりや学習支援を行う。 ・子どもの生活・学習支援事業により、ひとり親家庭児 童・生徒への支援を行う。 ・家庭相談員、母子父子自立支援員との相談支援体制 により、支援を行う。	・子どもの生活・学習支援事業を2カ所へ委託し支援を 行った。(さくら教室、ふれあい食堂) ・必要とする家庭への「ふれあい食堂」等の事業の周知・ 支援を実施した。 ・夏休み・冬休み期間の必要な家庭において、協力団体 から寄付していただいたパン・米等を配布し、家庭状況 の見守りを行った。
	保護者に 対する就 労支援	55	就労支援の充実	福祉相談課	生活保護世帯の中で就労可能な被保護者について、ハ ローワークへの同行や助言等の就労支援を行う。	・就労可能なケースは、毎月就労活動報告書の提出を 求め、単独で活動が困難なケースはハローワークへの 同行や面接時の支援を行った。 就学児童がいる被保護世帯6件(R3年1月末現在) 内就労者がいる世帯4件
		56	母子家庭自立支 援事業	子育て支援 課	・ヘルパー資格就業修了者や准看護師の修業者に給付 を行う。 ・関係者と連携し就労支援や家庭支援を行う。	・自立支援(ヘルパーなど) 2件 ・高等職業訓練(准看護師など) 3件

<基本方針1> 子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し 番号	具体的な施策	所管課	R2年度 事業計画(具体的内容)	R2年度 事業実績(具体的数値、内容)
経済的支援		57	生活・就労の相談	福祉相談課	生活困窮者自立相談支援事業により、生活困窮や就労に関する相談を受け、関係機関と連携し対応する。	まいさぼ伊那市で相談支援実施。R2年度は新型コロナウイルスの影響による収入の減少や就職困難等の相談が非常に多くなっている。 新規相談件数 223件(R3年1月末現在) (R元年度94件・平成30年度76件)
		58	母子・父子家庭医療費助成	健康推進課	ひとり親家庭の親子等の医療費を助成する。(所得制限あり)	ひとり親家庭の親子等の医療費を助成(見込) 母子9,127件 23,971千円、父子504件 1,322千円
		59	ひとり親家庭生活資金貸付金	子育て支援課	ひとり親家庭の家計支援策として、児童扶養手当を1か月分を貸し付ける。家計やりくり指導も行う。	31人 108件(R3年2月末現在)
		60	母子父子寡婦福祉資金の貸付	子育て支援課	ひとり親家庭の子どもが専門学校等に進学する際の修学資金等の長野県の貸付の受付を行う。	貸付件数 2件(R3年2月末現在)
		61	就学援助	学校教育課	経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学のために必要な経費の一部を助成し、就学を支援する。	経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学のために必要な経費の一部を助成し、就学を支援した。 ・R2就学援助対象児童生徒数(R2年12月末見込み) 小学校352人、中学校213人 ・R2入学前支給対象児童生徒数(R2年12月末見込み) 小学校60人、中学校72人

## 第2期 子ども・子育て支援事業計画 R2年度個別事業計画 【R2年度実績見込み】

<目標> 子どもと親と地域の笑顔があふれ、安心して子育てのできるまち いなし

### <基本方針2> 乳幼児保育と幼児教育の充実

		通し 番号	具体的な施策	所管課	R2年度 事業計画(具体的内容)	R2年度 事業実績(具体的数値、内容)
(1)保育・ 教育内容 の充実	保育教育 の質の向 上	62	保育内容の充実	子育て支援課	園長会や保育プロジェクト委員会等において、情報交換を行いつつ、さらなる充実に向けた課題を検討	・園長会、プロジェクト委員会を定期的に実施
		63	地域活動事業	子育て支援課	・園庭解放、園解放など各保育園にて実施 ・全保育園にて地域交流を実施 小学校・中学校・高校・高齢者クラブ・小鳩園・信州大学・地産グループ等	・コロナ禍のため園開放はほぼ中止 ・コロナ禍のため高齢者に関するものは中止、その他は規模や回数を縮小し実施
		64	幼・保・小連携	学校教育課  子育て支援課	・保育士、教員の資質向上 園内、校内研修の実施、「幼保小連携プログラム」の充実 ・地域ごとの連携 相互の一日体験の継続と充実 授業参観、保育参観、公開授業保育を継続する。 ・「幼保小連携プログラム」の成果と課題の検証 ・連続性、一貫性を持って子どもの育ちと学びを支援していくことのできる体制を構築する。 ・幼保小連携推進委員会(年3回)を開催し、幼保小連携プログラムに基づく取組の実践と検証を行いながら、引き続きより良い連携の在り方を検討していく。 ・実態を体験的に感得する機会として教職員相互の一日体験を継続する。 ・発達上支援の必要な乳幼児・学童・生徒について、「成長ダイアリー」を活用し、乳児期から幼稚園・保育園、幼稚園・保育園から小学校、小学校から中学校、中学校から高校、就労支援へ情報をつなぎ、支援を継続していく。 ・保育園、幼稚園児、小学校、中学校の児童生徒間相互の交流を進める。	・公開保育・公開授業を通して地域のつながりをさらに確認し、連携を深めた。 ・幼保小連携推進委員会を2回開催し、より良い連携の在り方を検討した。 ・幼保小連携プログラム(アプローチカリキュラム及びスタートカリキュラム)の実践と検証を行った。 ・保育士及び教職員相互の一日体験研修を行い、相互理解、職員同士の関係を深めた。(保育士17名、小学校教員21名参加) ・乳幼児・学童・生徒について、発達情報のつなぎとして「成長ダイアリー」を活用した。 ・近隣保育園、小中学校の児童生徒での交流を実施した。コロナ禍のため、自粛した計画とし、最小限の交流とした。(8園 延11回)

## <基本方針2> 乳幼児保育と幼児教育の充実

		通し 番号	具体的な施策	所管課	R2年度 事業計画(具体的内容)	R2年度 事業実績(具体的数値、内容)
		65	食育への取組	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育年間計画に沿った月齢別食育の推進</li> <li>・各園での地域協働の食育活動</li> <li>・保育士、給食技師を対象にした子どもの食についての研修会実施(離乳食・乳児食・アレルギー対応など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育年間計画に沿った月齢別食育の推進</li> <li>・各園での地域協働の食育活動</li> <li>・保育士、給食技師を対象にした子どもの食についての研修会実施(離乳食・乳児食・アレルギー対応など)</li> </ul>
	保育士等の確保と処遇改善	66	保育士等の確保と処遇改善	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳未満児の入園数の増加傾向に対応する保育士の募集</li> <li>・保育士等のやりがいのある職場づくりと、処遇改善</li> <li>・担い手を確保するため保育実習の受入れや大学等の保育士育成機関への情報発信を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職安等への求人活動を実施</li> <li>・年度当初に要する保育士の基準人員を確保</li> <li>・R2年度より会計年度任用職員制度を開始し、福利厚生等を向上、Ⅱ種(パート)からⅠ種(嘱託)への昇格試験の実施</li> <li>・保育実習の受入れを実施</li> <li>・大学等のガイダンスへ参加、採用情報の発信</li> </ul>
(2)保育・教育サービスの充実	保護者負担の軽減	67	保育園保育料軽減	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代の負担軽減を図るため、基本保育料の減額を行う。</li> <li>・多子世帯に対し保育料の軽減を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①3歳未満児 <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育料の減額拡充を継続(県下19市中で最も安い)</li> </ul> </li> <li>②3歳以上児 <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育料 国基準により無償化</li> <li>・副食費 国基準の月額4,500円を3,000円に軽減</li> <li>第3子以降無償(同一世帯に拡充)</li> </ul> </li> <li>③多子世帯の保育料軽減の拡充 <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育料 第2子1/2 第3子以降無償(同一世帯に拡充)</li> <li>・副食費 第3子以降無償(同一世帯に拡充)</li> </ul> </li> <li>④信州やまほいく保育料軽減事業への協力 <ul style="list-style-type: none"> <li>・やまほいく認定園の3歳以上児を、県と市で独自に国制度に準じる無償化</li> </ul> </li> </ul>
		68	幼稚園保育料等軽減	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代の負担軽減を図るため、基本利用料の減額を行う。</li> <li>・施設型給付費を支給し利用者負担を軽減する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記(保育園)と同様としている。</li> </ul>

## <基本方針2> 乳幼児保育と幼児教育の充実

		通し 番号	具体的な施策	所管課	R2年度 事業計画(具体的内容)	R2年度 事業実績(具体的数値、内容)
一時預かり事業、延長保育事業、病児病後児保育事業		69	延長保育事業	子育て支援課	・市内23園中、23園で実施 朝7:30～8:00 夕18:30まで(標準時間) 16園 朝7:30～8:00 夕18:30～19:00まで 6園 朝7:00～8:00 夕18:30～19:00まで 1園	・市内23園中、23園で実施 朝7:30～8:00 夕18:30まで(標準時間) 16園 朝7:30～8:00 夕18:30～19:00まで 6園 朝7:00～8:00 夕18:30～19:00まで 1園
		70	一時的保育事業	子育て支援課	市内7園で実施 上の原保育園、竜南保育園、高遠保育園、伊那保育園(私立)、つくしんぼ保育園(私立)、認定こども園伊那緑ヶ丘幼稚園、緑ヶ丘敬愛幼稚園(私立)	市内7園で実施 上の原保育園、竜南保育園、高遠保育園、伊那保育園(私立)、つくしんぼ保育園(私立)、認定こども園伊那緑ヶ丘幼稚園、緑ヶ丘敬愛幼稚園(私立)
		71	休日保育事業	子育て支援課	12月29日から1月3日までを除く日曜・祝日の保育を実施 場所: 上の原保育園	12月29日から1月3日までを除く日曜・祝日の保育を実施 場所: 上の原保育園
		72	病児・病後児保育事業	子育て支援課	病気療養中及び回復期において、集団保育が困難な場合に、児童を一時的に預かる。 市内1カ所、市外2カ所	病気療養中及び回復期において、集団保育が困難な場合に、児童を一時的に預かる。 市内1カ所、市外2カ所 ・コロナ禍の影響により、受入れ可能数に制限を要したため、利用人数が大幅に減少
		73	幼稚園の長期休業預かり	子育て支援課	長期休業時の預かり保育を市内幼稚園で実施	長期休業時の預かり保育を市内幼稚園で実施
		その他	74	障害児保育の充実	子育て支援課	・状況に応じた保育士の加配を行う。 ・巡回チームによる巡回相談 ・支援保育に関する研修会実施
(3)保育士・幼稚園教諭等の資質の向上	保育士・幼稚園教諭等の資質の向上	75	職員の資質向上	子育て支援課	職層研修・・・各職層に求められる職務遂行能力の向上と専門性を学ぶ。 専門研修・・・職務ごとに求められる専門的理論・技術を学ぶ 特別研修・・・そのほかの研修では実施が予定されていない内容であって、情勢に応じて早期に園全体で受講する必要がある場合	・コロナ禍のため集合研修はほぼ中止 代わりに、オンラインによる体制を整え、実施又は参加 ・園長、副園長、リーダー、中堅、新人、給食担当者等各研修 ・保健衛生専門研修会 ・保育所地域子育て塾 ・主任保育士、主幹保育教諭特別講座 ・保育園職員研修等実施 保育内容研究、園内研修等多くの研修を実施し職員の資質向上を図った。

## <基本方針2> 乳幼児保育と幼児教育の充実

		通し 番号	具体的な施策	所管課	R2年度 事業計画(具体的内容)	R2年度 事業実績(具体的数値、内容)
(4)地域に密着した特色ある保育・教育活動の推進	おいし伊那食育応援団	76	地域に密着した保育園・幼稚園等の運営	健康推進課	市民から募集した食育ボランティア団体(おいし伊那食育応援団)が保育園・幼稚園、子育てサークル及び小学校などに出向き、園児や保護者などに対して、世代に合わせた食育の出前講座を提供し食育の大切さについての情報発信を行う。	食育ボランティア団体(おいし伊那食育応援団)の活動は、コロナウイルス感染症のため縮小実施となった。
	体験の場の活用	77	地域の自然や環境の活用	子育て支援課	・地域の団体や住民との協働 ・やまほいく、がるがるっこ、シンボルツリー等の体験の創出による、地域の自然や環境を生かした特色ある活動	・コロナ禍のため地域との協働活動の多くは中止が、可能な範囲で人数と規模を縮小して実施 ・信州やまほいくについて、新たに西箕輪南部保育園、高遠保育園が普及型の認定 ・ソニー財団の奨励賞を3園(西箕輪南部、西春近北、高遠)が受賞
	その他	78	地域との連携	子育て支援課	・地域運営委員会を中心に、地域との交流保育を全園で実施する。	・コロナ禍のため、ほぼ中止
(5)保育・教育環境の整備	児童減少地域の子どもの保育教育の確保対策	79	若者定住促進に情報発信と、施設の整備・長寿命化	地域創造課 学校教育課 子育て支援課	・若者の定住促進と連携した子育て支援施設等の情報発信 ・子育て環境確保のための施設整備・長寿命化 【保育園関係】 園庭の芝生化を推進(富県・東春近補修 約100㎡計画) 新山保育園建設事業を実施する。 (新園舎建設実施設計業務、仮園舎整備・園舎解体工事) 【学校関係】 高遠中、長谷中体育館非構造部材耐震化他(屋根・LED照明改修等)工事 長谷小トイレ改修工事 伊那東小・富県小・長谷中ペレットストーブ設置工事ほか	【保育園関係】 ・園庭芝生化 富県保育園芝生補修 約100㎡実施 ・新山保育園建設実施設計業務 完了 ・仮園舎整備・現園舎一部解体工事実施 【学校関係】 高遠中学校(体育館非構造部材耐震化・屋根改修・LED照明改修)を実施 長谷中学校(体育館非構造部材耐震化・屋根改修・LED照明改修)を実施 長谷中学校体育館及び校舎のトイレ改修を実施 長谷小学校校舎のトイレ改修を実施 伊那東小学校ペレットストーブの設置(10基) 富県小学校ペレットストーブの設置(8基) 長谷中学校ペレットストーブの設置(4基)
	認定こども園化、特別利用保育	80	小学校就学に向けた集団活動の体験	子育て支援課	・小学校就学前において、保育認定を受けられない子どもの集団活動の体験の場となる教育を可能とするため、必要となる地域の認定こども園化や特別利用保育の実施を研究する。	・小学校就学前の年長児童の就園状況は、ほぼ100%となっている。幼稚園の無い地域における保育園の認定こども園化や特別利用保育の必要性について研究中。

## <基本方針2> 乳幼児保育と幼児教育の充実

		通し 番号	具体的な施策	所管課	R2年度 事業計画(具体的内容)	R2年度 事業実績(具体的数値、内容)
	施設の防犯対策及びICT化等の促進	81	施設の防犯対策及びICT化等の促進	危機管理課 学校教育課 子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊那市安全会議子ども安全部会と連携し、実働による効果的な防犯対策を実施する。</li> <li>・施設の消防防災計画の点検と見直し</li> <li>・防犯防災の設備及び備品の整備</li> <li>・保護者の利便性の向上と保育業務の効率化に向けたICT活用の研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊那市安全会議子ども安全部会と連携し、実働による効果的な防犯対策を実施した。</li> <li>・施設の消防防災計画の点検と見直し</li> <li>・防犯防災の設備及び備品の整備(法廷点検、消火器更新)</li> <li>・保護者の利便性の向上と保育業務の効率化に向けたICT活用の研究</li> </ul>
(6)乳幼児とのふれあいの場の提供	職場体験・保育ボランティアの受入れ	82	職場体験・保育ボランティアの受入れ	子育て支援課 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生、高校生及びボランティアの交流受入れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校の職場体験を実施 1校25名</li> <li>・中学生の職場体験 規模や人数を制限して実施</li> </ul>

## 第2期 子ども・子育て支援事業計画 R2年度個別事業計画 【R2年度実績見込み】

〈目標〉 子どもと親と地域の笑顔があふれ、安心して子育てのできるまち いなし

### 〈基本方針3〉 青少年健全育成と家庭教育の充実

		通し 番号	具体的な施策	所管課	R2年度 事業計画	R2年度 事業実績(具体的数値、内容)
(1)子どもの安全安心な居場所確保	子どもの居場所づくり	83	子どもの居場所づくり	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みなどに、図書館で映画上映会や理科の実験を行うなどして、来館したことのない子供も馴染みやすい図書館をPRする。</li> <li>地球の学校、宇宙の学校の開催</li> <li>歴博わくわく教室の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球の学校(4回)、宇宙の学校(4回)を開催した(新型コロナウイルス感染症対策のため回数を1回減らし、人数も制限して開催)。</li> <li>歴博わくわく教室を開催した(全3回の内、2回開催し、1回は新型コロナウイルス感染症対策のため中止)。</li> <li>新型コロナウイルス感染症対策のため、図書館の映画上映会、理科の実験を行う理科読は中止。例年より募集人数を半分程度に制限をしてワークショップ(8回)、ホールで虫を見る講座(1回)を開催した。</li> </ul>
		84	公園整備	都市整備課	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園長寿命化計画策定</li> <li>公園の環境整備</li> <li>公園遊具保守点検 年1回</li> <li>公園遊具の維持管理</li> <li>木製遊具への防腐剤塗布、破損個所の修繕ほか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園長寿命化計画策定・対策事業の具体的検討</li> <li>公園の環境整備</li> <li>公園遊具保守点検 年1回</li> <li>公園遊具の維持管理</li> <li>木製遊具への防腐剤塗布、破損個所の修繕ほか</li> </ul>
		85	児童遊園地設置補助事業	子育て支援課	<p>地域自治団体が児童遊園地を設置((補助率1/2以内)、増設(補助率1/3以内)、改修(補助率1/3以内)する事業に対し予算の範囲内で補助する。</p>	2地区、125,666円の補助実施
学童クラブ		86	児童の安全、保育の質の向上 施設整備 保育園、小学校、地域との連携	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期休業特別学童クラブの開設、拡充</li> <li>入所希望調査実施(9月)</li> <li>施設の修繕</li> <li>必要備品の購入</li> <li>支援学級児童の利用検討</li> <li>西春近北小学童クラブの改修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期休業特別学童クラブの開設、拡充</li> <li>入所希望調査実施(9月)</li> <li>施設の修繕</li> <li>必要備品の購入</li> <li>支援学級児童の利用検討</li> <li>西春近北小学童クラブの改修</li> </ul>
スクールゾーン・キッズゾーンの設定		87	通学、通園、散歩コース等の安全確保	子育て支援課 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き学校が決めた通学路を職員やPTAが実際に歩き安全性を確認する。</li> <li>教員、見守り隊用に安全ベストを配布する。(各校3着)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き学校が決めた通学路を職員やPTAが実際に歩き安全性を確認する。</li> <li>教員、見守り隊用に安全ベストを配布する。(各校3着)</li> <li>スクールゾーン・キッズゾーンについては園、学校教育課と検討中</li> </ul>



### <基本方針3> 青少年健全育成と家庭教育の充実

		通し番号	具体的な施策	所管課	R2年度 事業計画	R2年度 事業実績(具体的数値、内容)
	その他	88	子どもの安全対策	危機管理課 生涯学習課 学校教育課	・子ども安全見守り隊の活動に必要な各種消耗品に対して支給を行い、見守り隊の活動に対するサポートを行っていく。 ・「青色防犯パトロール」の実施 ・街頭補導の実施 毎週土曜日及び第3日曜日、学校長期休業期間	・子どもの安全見守り隊の活動に必要な、交通安全講習用カラーコーンや蜂用殺虫剤などの消耗品の支給を実施した。 ・市職員による青色防犯パトロールの実績 年間実績(見込み) 2,916人/243日 ・街頭補導の実施 毎週土曜日及び第3日曜日、学校長期休業期間
(2)地域活動の充実	地域との連携	89	コミュニティースクール、子ども見守り隊の推進 よりよい教育環境づくり	学校教育課 生涯学習課	・各学校の信州型CS運営委員会への運営資金を配当する中で、地域と学校のつながりの推進をより一層図るべく実施していく。 ・よりよい教育環境推進連絡会の開催(8月) ・信州あいさつ運動(毎月11日)実施の周知及び協力依頼	・各校の信州型CS運営委員会で、コロナ禍であったの消毒作業等の協力、学習支援等、教職員の負担軽減につながる協力体制ができていた。 ・よりよい教育環境推進連絡会での情報共有 ・信州あいさつ運動(毎月11日)実施の周知及び協力依頼(可能な範囲で実施した)
	青少年の健全育成	90	ネット依存、子どもの性被害、有害情報等への情報発信等	学校教育課	PTAと学校、地域との連携を図りながら、子どもへの有害と思われる情報を収集し、チラシ配布、声かけ等で有害情報を発信していく。	・市教委でのネットトラブル相談事業においての、メール相談のチラシ配布や講演会を通じ、トラブルを未然に防ぐ対応と周知を行った。講演会実施校:9校
		91	育成会等の団体への支援	生涯学習課 スポーツ課	・伊那市スポーツ少年団活動支援 事務局運営6競技20団体 ・伊那市総合型地域スポーツクラブ活動支援 子供のスポーツ講座を委託21講座委託 ・伊那市青少年健全育成事業支援 34団体	・伊那市スポーツ少年団活動支援と事務局運営6競技20団体 ・伊那市総合型地域スポーツクラブ活動支援と子供のスポーツ講座を委託 21講座委託(6月末までは中止) ・伊那市青少年健全育成事業支援 34団体
(3)家庭教育の推進	家庭教育	92	子どもを温かく見守れる親育て	学校教育課	小中学校とPTAが連携し、保護者における子育てや学習などの悩みや問題点を、情報共有したり意見交換する機会を設け、家庭における最良の子どもへの接し方を考える。	PTAと学校とが常に連携を図り、学校全体にかかわることや、個別の家庭環境や現代社会における問題点の対策等を話し合い相談する機会は、常に体制を整えている。
		93	子どもたちのあるべき姿のグランドデザイン	子育て支援課 学校教育課	各小中学校の学校目標や教育テーマを軸に、保護者への学校経営の理解を深めてもらう中で、各家庭で取り組むべきイメージを構築する。	学校評価において、学校目標や重点目標を保護者へ提示、説明する中で、学校が取り組む課題や成果、改善策・向上策を公表し理解していただいている。
		94	将来へ希望の持てる家庭教育の構築	子育て支援課 学校教育課	学校と各家庭との連携や情報の共有をする中で、自分の子どもが望むあるべき姿や求める環境を教師や親が理解するための懇談機会と相談体制を整える。	保護者が望む教育や環境について、担任をはじめ校長、教頭など、常に開かれた学校、相談できる学校として、保護者懇談会等で周知したほか、個別での対応にも取り組んだ。

### <基本方針3> 青少年健全育成と家庭教育の充実

		通し 番号	具体的な施策	所管課	R2年度 事業計画	R2年度 事業実績(具体的数値、内容)
(4)インターネット適正利用の推進	インターネット適正利用	95	インターネット適正利用	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットによる、ネット依存等による引きこもりや子どもの性被害の撲滅に対する啓発を実施する。</li> <li>・ネットトラブル相談事業の活用により、未然に子どもの被害を防ぐとともに、適正利用を啓発していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市教委でのネットトラブル相談事業においての、メール相談のチラシ配布や講演会を通じ、トラブルを未然に防ぐ対応と周知を行った。講演会実施校:9校</li> </ul>
(5)学校保健・思春期保健との連携	学校保健・思春期保健との連携	96	学校保健と思春期保健等の連携	健康推進課 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の健康問題の解決を目的とした関係機関連絡会の開催</li> <li>・専門家を招き性教育講演会を開催(小学校 年1回、中学校 年3回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の健康問題の解決を目的とした関係機関連絡会の開催</li> <li>・専門家を招き性教育講演会を開催(小学校 年1回、中学校 年4回)</li> <li>・市内中学2年生対象にSOS出し方学習会を開催</li> </ul>
	不登校、引きこもり	97	関係機関連携と指導相談体制	健康推進課 福祉相談課 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者機関で連携をとり情報共有することで、個別の早期支援体制を整える。</li> <li>・子どもに寄り添い、保護者との相談を重ね、長引かないよう問題解決を図っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導主事・SSW・SC・学校と常に情報収集と情報共有を図り、早期の相談・対応・支援対策を行った。</li> <li>・まいさぼ伊那市にアウトリーチ支援員を配置し、本人や家族に対する相談支援環境の整備に取り組んだ。</li> </ul>